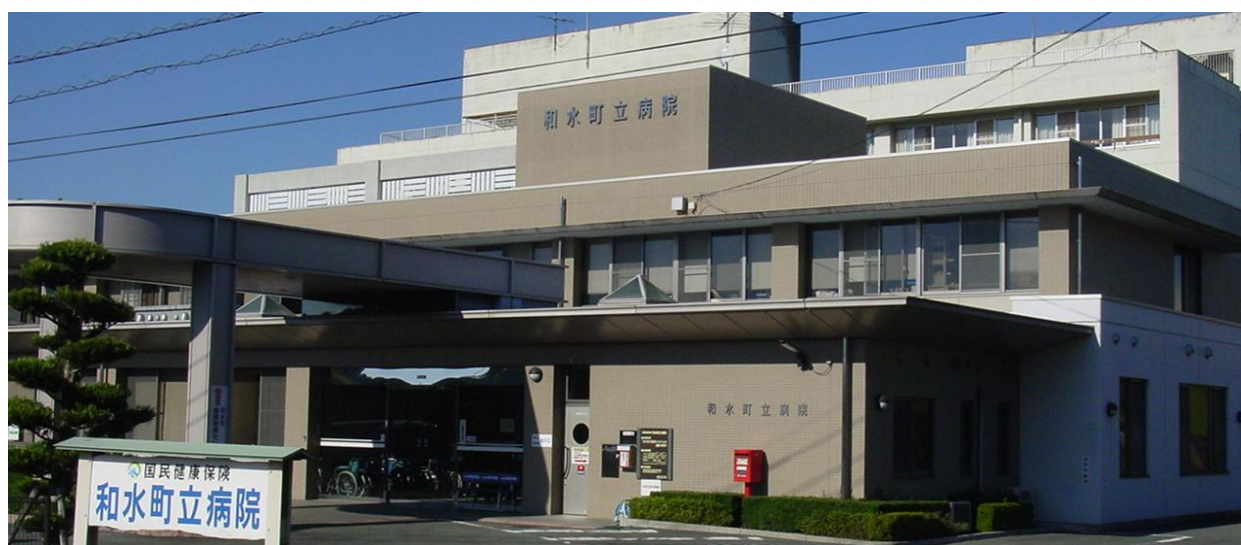




## 地域医療の現場から

# 高齢者社会に適応した 地域包括医療・ケアを目指して

国保和水町立病院  
事業管理者 志垣信行



### 病院の概要

- 設立年月：昭和23年3月
- 許可病床数：98床  
(再掲) 一般病床56床 療養病床42床  
(介護型療養病床10床を含む。)
- 入院基本料：10対1
- 職員数：105人  
(再掲) 医師5人 看護師51人  
(平成25年5月30日現在)

### 地域の医療機関と連携しながら 町立病院としての役割を果たす

当院は昭和23年に江田町他3ヶ村組合立国民健康保険共立病院として創設され、同29年町村合併により国民健康保険菊水町立病院と改称し、平成18年菊水町と三加和町の合併により和水町立病院となって現在に至っています。

常勤医師数は外科2人、内科3人で、小児科(毎日)、整形外科(週2回)、脳神経外科(週1回)は非常勤医による外来診療を行っています。

病院内に健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設し、隣接して町立の特別養護老人ホームがあり当院とは渡り廊下でつながっています。

和水町は県北部にあり西は玉名市、東は山鹿市と隣接しています。公立玉名中央病院、玉名地域医療センター、山鹿市民医療センターも近く、当院から車で15~20分しかかかりません。荒尾市民病院は少し遠いのですが、それでも30分で行くことができます。外科、整形外科の手術や重症患者はそれらの病院にお願いすることが多く、いつもお世話になっています。当院では急性期を過ぎた患者さんを受け入れることで連携を図っていきたいと考えています。

### 通院手段や退院後の生活は… 求められる高齢者社会への対策

和水町の人口は1万1200人あまりで全体としては減少していますが、65歳以上の高齢者は増加し現在35%を超えています。10年後には45%となる計算です。高齢化の流

れは熊本市の10年先を行っているようです。近年は核家族化が進み、夫婦2人や独居で暮らしている高齢者が増加しています。車の運転ができなくなり、公共の交通機関も少なく、医療機関にかかりたくても通院が困難な方もおられます。また当院は町の南端にあるため、北側の旧三加和地区からは通院がとても不便です。以前からケアバスと称して当院と町の各所を巡回するバスを運行していましたが、町民が利用しやすいように便数や巡回する地区を増やし、病気が重症化しないうちに早く受診してもらうようにしたいと思っています。

高齢者が病気にかかると自宅退院が困難になることも多くなります。脳卒中後のまひや認知症、骨折がきっかけとなって歩行困難になる場合など多くの原因で自宅退院ができなくなります。症状が軽くても独居の方や、老老介護になる場合もあり、自宅退院は困難です。医療機関で疾患の治療を行うより、その後の患者さんの生活をどうするか決めるのがたいへんです。治療が終わると本人・家族と今後の方針について話し合いを持つのですが、幸い当院を含め近辺地区には、訪問看護ステーション、介護施設、老健、グループホームなど福祉施設が比較的多く、選択肢が多いのでどうかなっているというのが現状です。ただ十数年後団塊の世代が後期高齢者になったとき、入院施設や介護施設が足りなくなるといわれています。その頃には介護型療養病床は廃止になり、医療型もベッド数が減少していると思われ、当院の総ベッド数も今より少なくなっている可能性があります。今から対策を立てる必要があると考えています。

### 予防医学が効果的 健診で早期発見・早期治療を

高齢者社会に対応するには予防医学が最も効果的だと思います。私も皆さんも、ある程度治療は受けながらも、お迎えが来るまでは元気で暮らしたいと思っていますし、その方が医療費も少なくなります。そのためには病気の早期発見、早期治療が必要になります。現在、和水町は住民健診の充実を図っており、生活習慣病のスクリーニングを目的とした特定健診の受診率は平成

23年度で57.4%と県内5位の成績でした。二次健診や保健指導にも力を入れており、当院でも糖尿病教室を開催して、住民の啓発に取り組んでいます。ただ健康に関心がある人とならない人の差が大きく、せっかくの糖尿病教室もリピーターが多く新規参加者が少ないのが悩みです。健診を受けない人や、受けて異常を指摘されても医療機関を受診しない人に対する対策を検討しなければなりません。町の広報誌やミニ講演会などを利用して早期治療の重要性を広める活動を行っています。

### 経営安定とサービス向上を目指して

当院も今年度から地方公営企業法、一部適用から全部適用に変わりました。医師不足、看護師不足など地方自治体病院を取り巻く環境は厳しさを増していますが、町民に必要な病院ですのでどうにか存続していかなければなりません。これを契機に経営状態を安定化させ、患者さんに対してのサービス向上を目指していきたいと職員一同がんばっています。



健康管理センター(1階)。2階に訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所がある



渡り廊下により病院と特養がつながれ、行き来が便利になっている